

# 『命の授業』講演アンケートへの記載内容について

## ① きっかけ、理由、紹介者・

社会教育課が主催する乳幼児期家庭教育学級で講師を務めていただいた河野博子先生が、講座の中で、ご自身の子育てで支えとなった言葉について、参加された若いお母さん方に紹介されました。それが腰塚先生の「5つの誓い」でした。

帰路、青少年育成係として、市民の皆様に腰塚先生のご講演を聴いていただき、一人でも多くの方に心の支えをもってもらえればと思った次第です。

## ② 一番心に残ったこと 講演を聞いて

「ドリー夢メーカーとドリー夢キラー」 私には高校生の娘がいます。我が子が進路選択の岐路に立たされて悩んでいる時に、親として「5つの誓い」にあるような接し方をしていなかったなあ、ドリー夢キラーではなかったか…と、思いました。私は長年教員として子供たちの健やかなる成長を願って働いてきました。しかし、すべての子供たちに5つの誓いを守って接してきたか？まだまだできることがあったのでは…。そして、我が子には…。私はできるだけ「いつでも どこでも 誰にでも」を信条の一つとしています。これからの人生で『5つの誓い』を大切にし、人々に貢献できるようがんばらねばと心を新たにしていこうという気持ちになりました。

## ③ また、講演を【 開催したい ・ 紹介したい 】

ぜひ開催させていただきたいし、他の仲間にも紹介したいと思っています。

## ④ 今後、取り上げて欲しい「内容」（いじめ・自殺・看護・介護）があれば

## ⑤ 講演を主催した感想や腰塚氏へのメッセージ

本巢市の青少年育成の推進員さんたちは、「公演中、腰塚先生の熱い思いが伝わってきた！」とおっしゃっていました。日頃、本巢市の推進員さんたちは、子供が安心安全に生き生きと育つことを願って、子供の身近で様々な活動をなさっていらっしゃいます。一生懸命取り組んでいらっしゃるからこそ、腰塚先生のお言葉が心に染みいったのではないかと思います。

私個人として、腰塚先生のお話を中学生にも聞いてもらいたいと思いました。困った時、「助けて…」と言える仲間作り、ドリー夢メーカーであって、キラーではないことの素晴らしさを、自我を形成していく発達段階にある中学生の心に届けば、きっと本巢市がさらに心あたたかな町、そして人々が幸せを今よりさらに感じるこのことできる町になると思います。ご講演ありがとうございました。